

る危険がある。問題は、実践を通じて、右翼組合の大家に我々の正しいことを示すことだ。

(三) 又、現在、(一)の項に述べた枚挙事情の下にない支部や分会に対しても、新同盟結成の一的方針の口は、出来る限り広汎に行ふ必要が殊に、スーライヤを以てする——カレクは、くらうとしてゐる——やうな支部や、分会に対して、積極的にそれらを支持応援し、その分会を我々の影響の下に置くやうにする。

(四) 更に、右翼組合の支部、分会に対する働きかけは、互の討議が注意を以て行はなければならない。

1. 数十人もしくは数百人の分会の口は、我々の影響の下に在るものが数人出来たといふやうな場合には、その数人を、その表面に示して、我々の組織に入れたらうとするやうなことをしなさいこと。(その場合には、無論、フランクとして、決して置くべきだ。そして、そのためには、やうやくにも、支配階級にも誰れがフランクなのか、全く、知れぬいやうにしておく必要がある。)

2. 支部や分会が全幹、まとまらないうち、我々の戦線統一運動に参加して来た場合は無論、公然と新同盟に組織するべきであるが、その場合でも、その支部や分会が、組合全幹を動かすための反対派的役割を果し得るやうな、充分の條件をそなへてゐる場合は、右翼組合内に反対派(我々のフランク)として残して置くこと。

3. 如く幹に対する暴行は、それ故、我々の、右翼組合の大家に対する親切的指導と結びつけられるのでなければ、たいして効果はないといふこと。

(一) 所心水ニとは、此の際、この戦線統一運動を教えるに於ては、右翼組合の大家と手を結ぶことであつて、右翼組合の大家を、今直ぐは何でもかんでも、我々の組織に引き入れようとするのではない。

未組織大衆に対する働きかけに

関する方針

(一) 未組織大衆の中で、我々の戦線統一運動に参加しようとする、
1. 強力な裏面資本組合が出来たら入らうと考へてゐるやうな諸君(かつて旧幹や会に入つてゐたが、今は、どこにも入つてゐないといふやうな人々の中には、さうして人々が、かぶりある)
2. 労竹組合に入つてゐないが、自分のところの工場だけで、共済組合的組織を依つてゐる、どこか、いゝ組合へ入らうと考へてゐる、といふやうな諸君、
3. ちとやう幹や、シルトラ連中の指導の下に組織を持つてゐたが、その指導の拙劣さのために、現在は、組織がのれくおるといふやうな工場の諸君、
(二) 右のやうな事情に在る諸君は、当面の戦線統一運動を以て、我々の陣営に入つて来る可能性の最も多い諸君であるから、それな事情の下に在る諸君を調子よく、積極的に